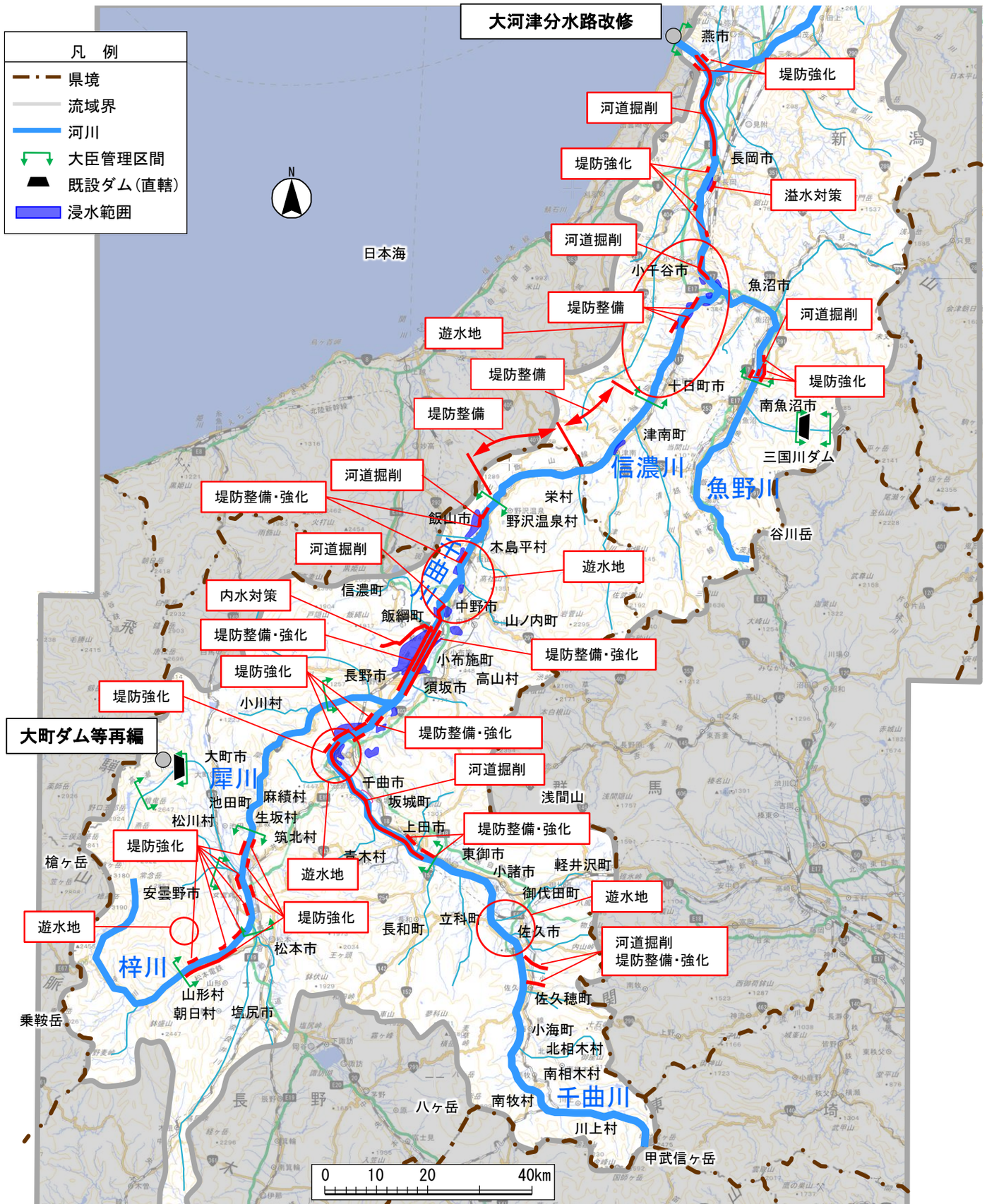
信濃川水系緊急治水対策プロジェクト
～「日本一の大河」上流から下流まで流域一体となった防災・減災対策の推進　～



※本対策箇所は主要箇所のみ記載しています。
※大河津分水路改修と大町ダム等再編事業は、プロジェクトと並行して継続実施する。
※本プロジェクトは、短期的（概ね5～10年）の達成目標であり、プロジェクト終了後も継続し、中・長期的に対策を講じる。

○令和元年１０月台風第１９号により、甚大な被害が発生した信濃川水系において国、県、市町村が連携し、**「信濃川水系緊急治水対策プロジェクト」**として取りまとめました。
○国、県、市町村が連携し、以下の取り組みを実施していくことで、概ね５年間で「再度災害防止・軽減」、「逃げ遅れゼロ」、「社会経済被害の最小化」を目指します。
①被害の軽減に向けた治水対策の推進【河川における対策】
②地域が連携した浸水被害軽減対策の推進【流域における対策】
③減災に向けた更なる取組の推進【ソフト施策】

■河川における対策

全体事業費　約1，227億円（国事業）
　災害復旧　約　214億円
　改良復旧　約1，013億円
事業期間　令和元年度～令和9年度
目　　標　【令和6年度まで】
台風第19号洪水における
・千曲川本川の大規模な浸水被害が発生した区間等において越水等による家屋部の浸水を防止
・信濃川本川の越水等による家屋部の浸水を防止

【令和9年度まで】
台風第19号洪水における
・千曲川本川からの越水等による家屋部の浸水を防止
対策内容　河道掘削、遊水地、堤防整備・強化

■流域における対策

・ため池等既存施設の補強や有効活用
・田んぼダムを活用した雨水貯留機能の確保
・学校グランドなどを活用した雨水貯留施設
・排水機場等の整備、耐水化の取組
・防災拠点等の整備

■ソフト施策

・「まちづくり」や住まい方の誘導による水害 に強い地域づくりの検討
・高床式住まいの推進
・マイ・タイムラインの普及
・公共交通機関との洪水情報の共有
・住民への情報伝達手段の強化

長野市穂保地先の堤防決壊、
浸水被害状況

新潟県小千谷市内における
浸水被害状況

※計数については、今後の調査、検討等の結果、変更となる場合がある。

信濃川水系緊急治水対策プロジェクト（位置図）　（１／１７）

■流域における対策

- ため池等既存施設の補強や有効活用
- 田んぼダムを活用した雨水貯留機能の確保
- 学校グランドなどを活用した雨水貯留施設
- 排水機場等の整備、耐水化の取組
- 防災拠点等の整備

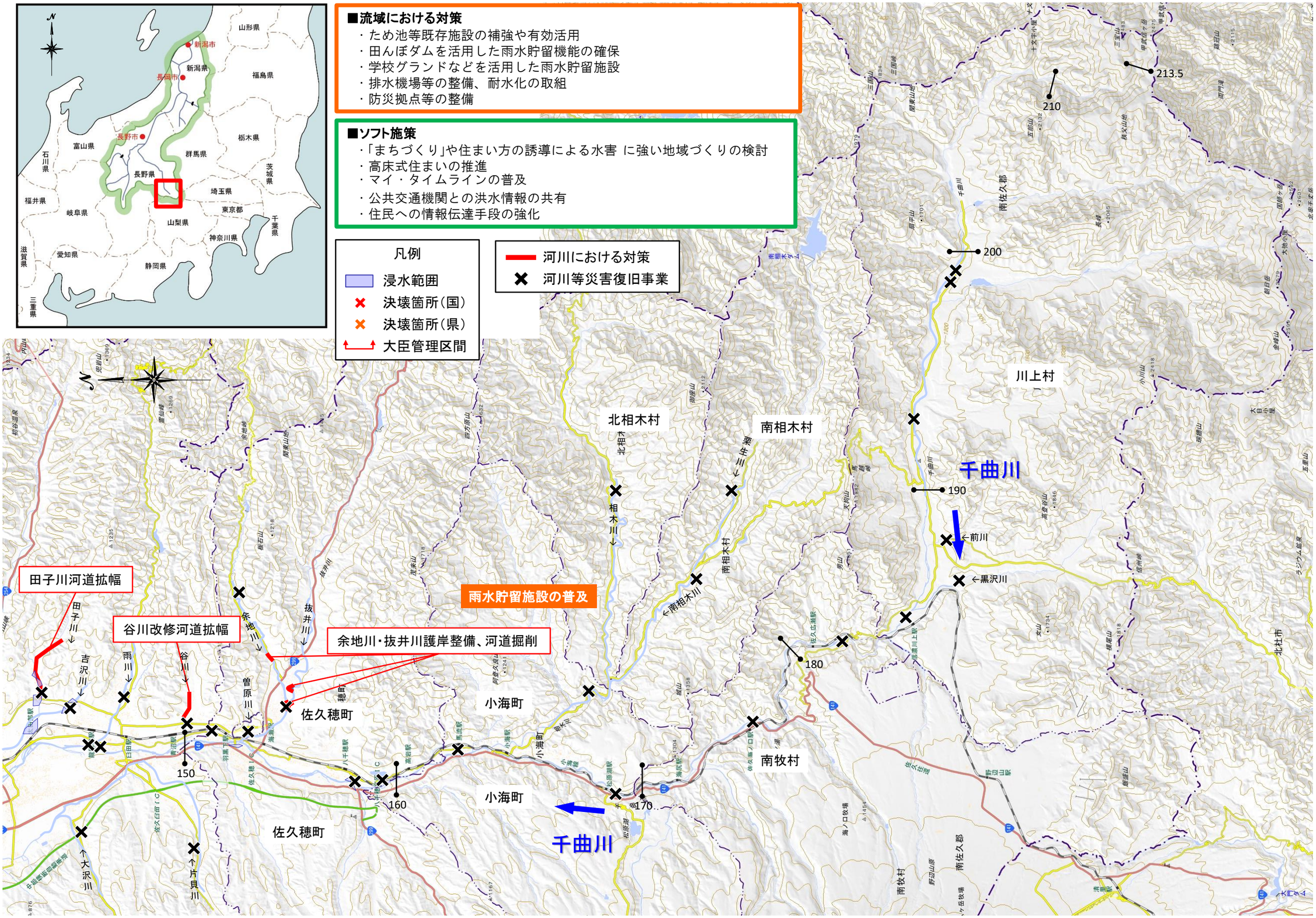
■ソフト施策

- 「まちづくり」や住まい方の誘導による水害 に強い地域づくりの検討
- 高床式住まいの推進
- マイ・タイムラインの普及
- 公共交通機関との洪水情報の共有
- 住民への情報伝達手段の強化

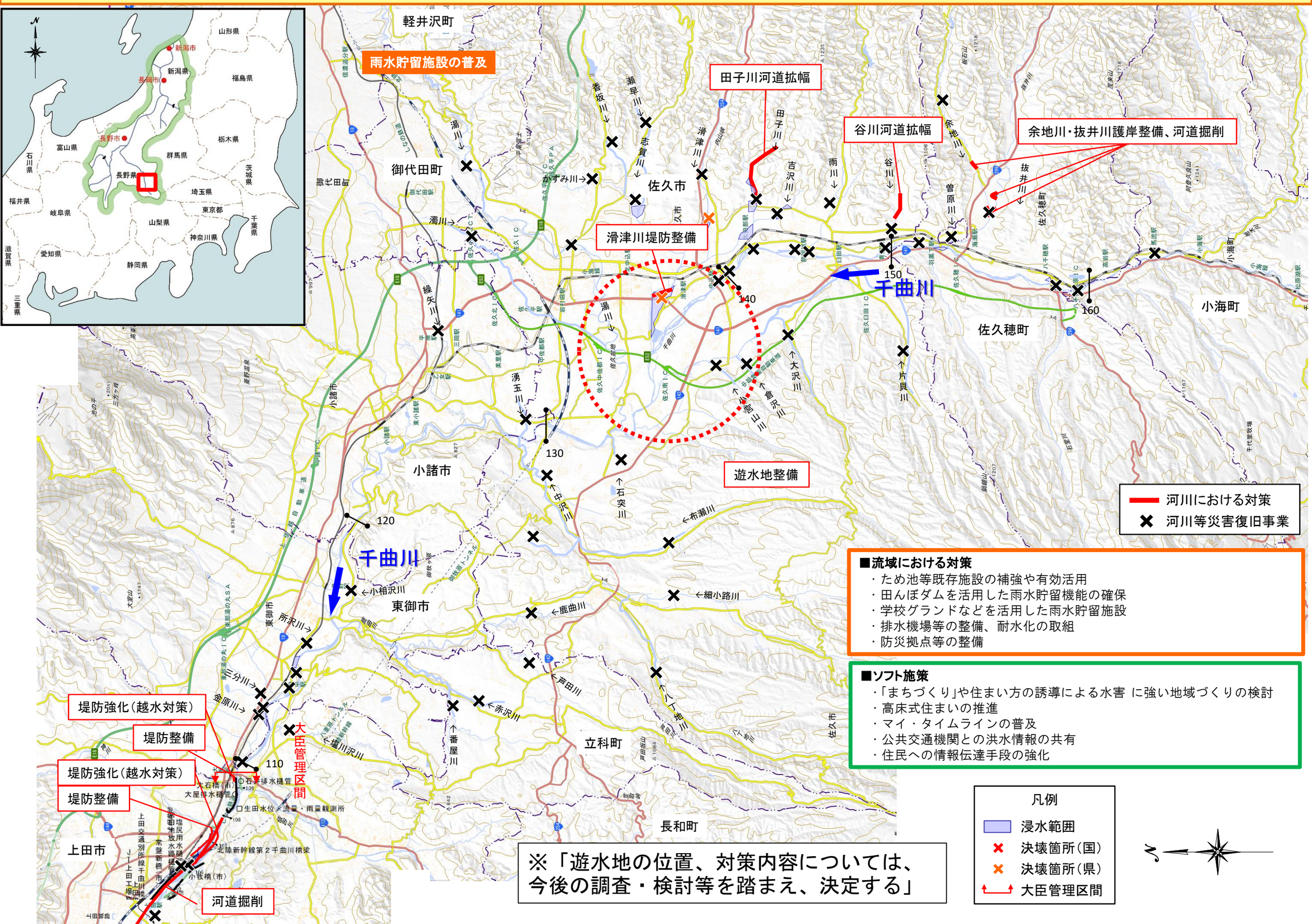
凡例

- 浸水範囲
- 決壊箇所（国）
- 決壊箇所（県）
- 大臣管理区間

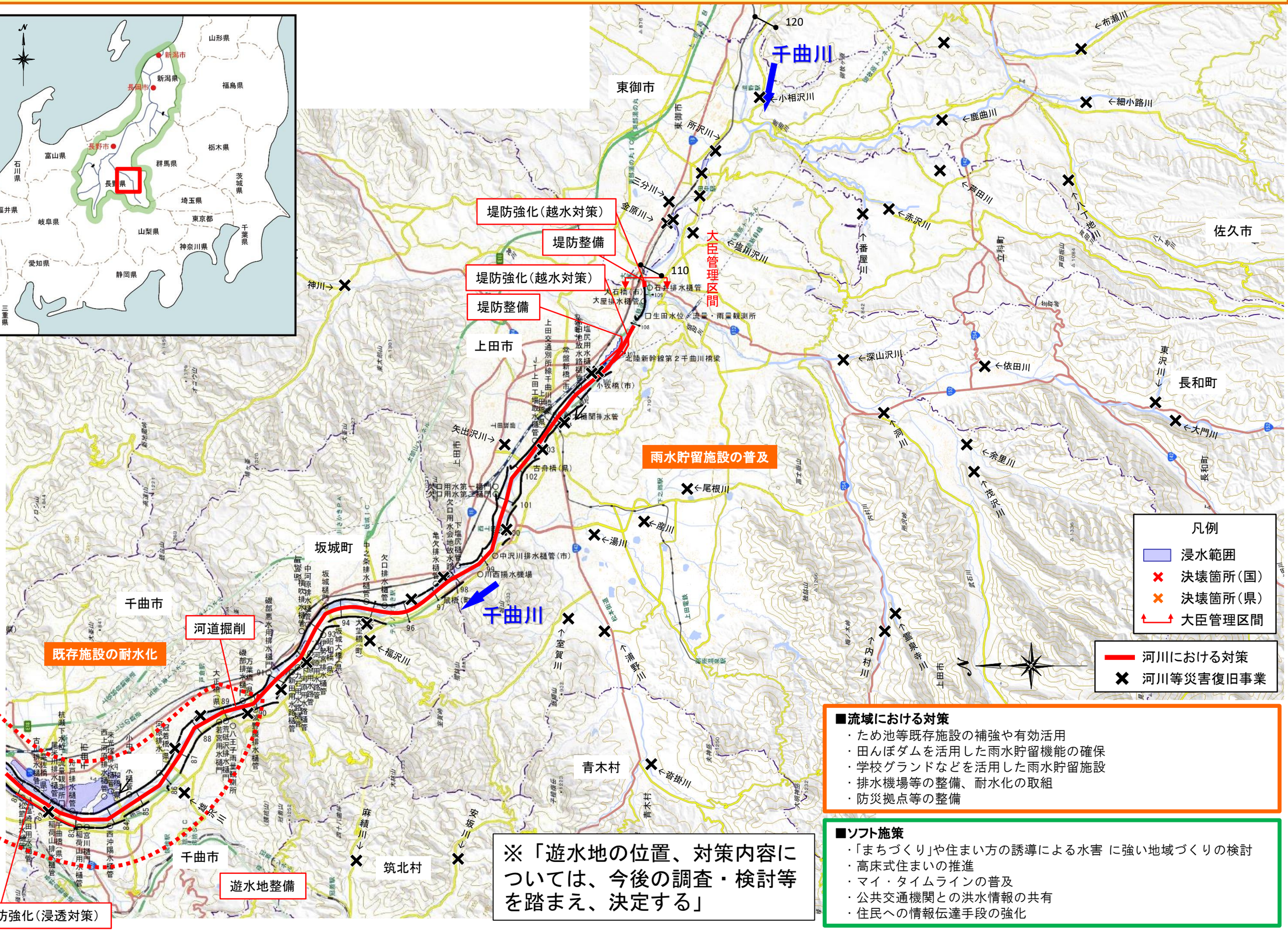
- 河川における対策
- 河川等災害復旧事業



信濃川水系緊急治水対策プロジェクト（位置図）　（２／１７）



信濃川水系緊急治水対策プロジェクト（位置図）　（３／１７）



※「遊水地の位置、対策内容については、今後の調査・検討等を踏まえ、決定する」

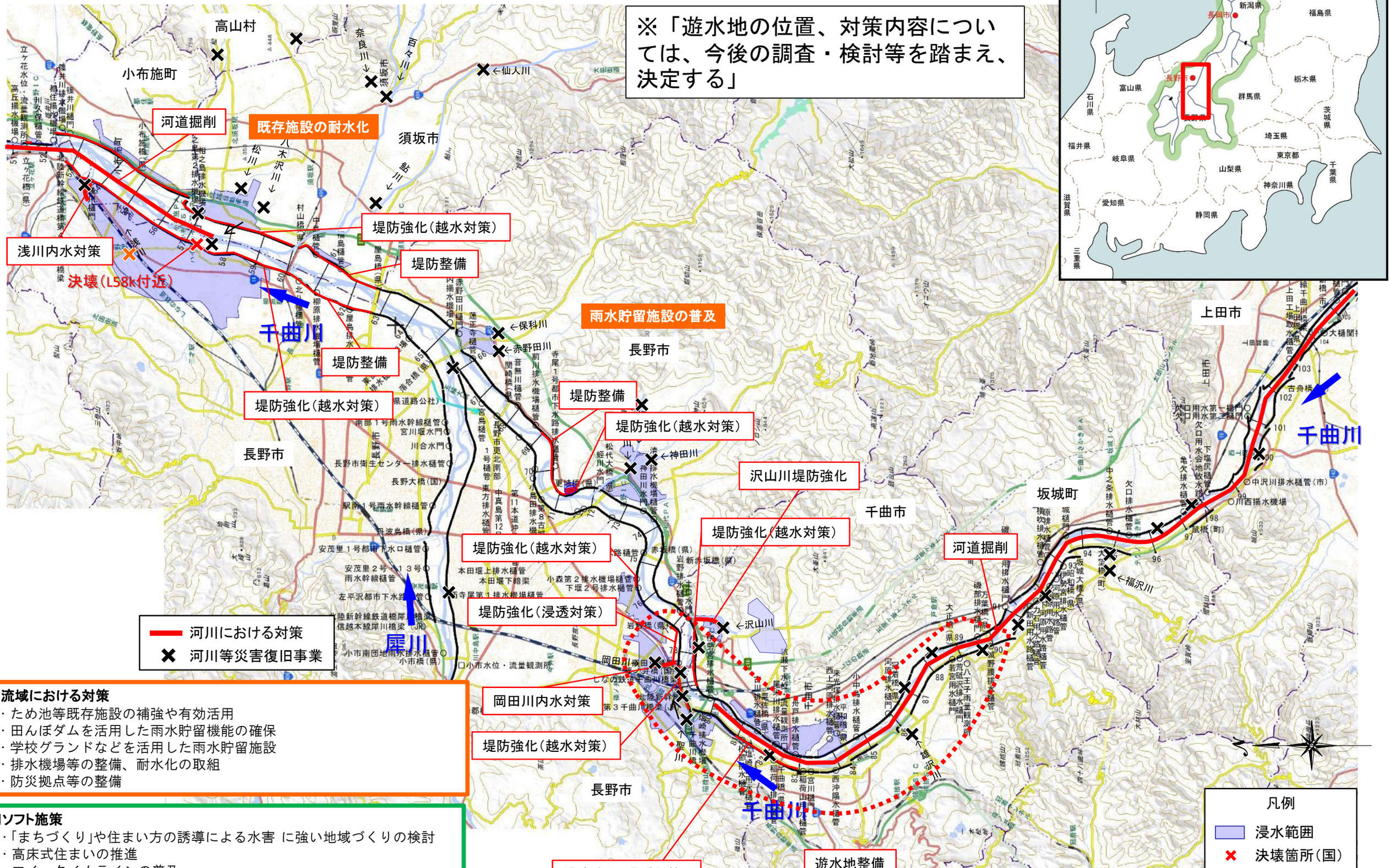
■流域における対策

- ため池等既存施設の補強や有効活用
- 田んぼダムを活用した雨水貯留機能の確保
- 学校グランドなどを活用した雨水貯留施設
- 排水機場等の整備、耐水化の取組
- 防災拠点等の整備

■ソフト施策

- 「まちづくり」や住まい方の誘導による水害 に強い地域づくりの検討
- 高床式住まいの推進
- マイ・タイムラインの普及
- 公共交通機関との洪水情報の共有
- 住民への情報伝達手段の強化

信濃川水系緊急治水対策プロジェクト（位置図）　（４／１７）



■流域における対策

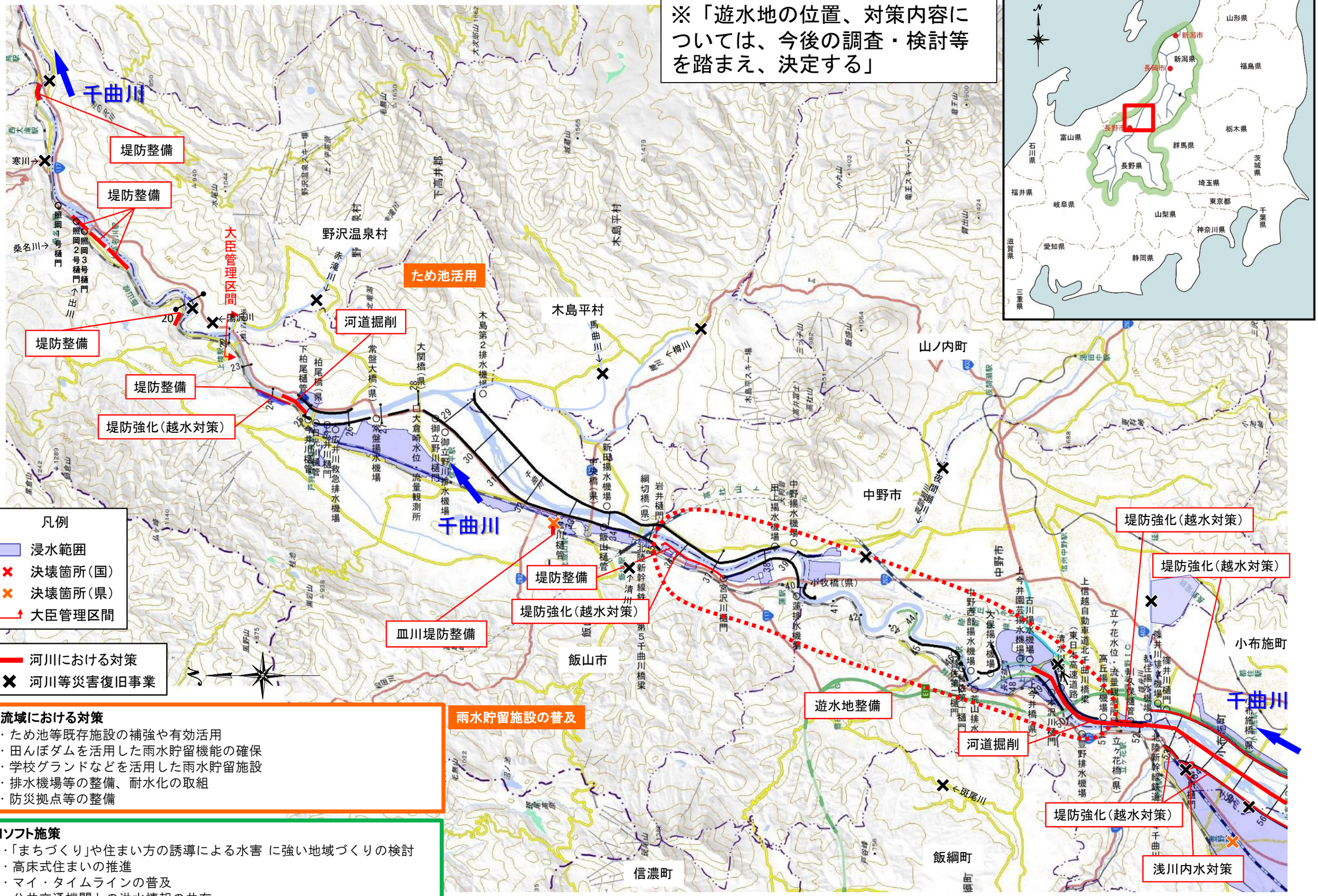
- ため池等既存施設の補強や有効活用
- 田んぼダムを活用した雨水貯留機能の確保
- 学校グランドなどを活用した雨水貯留施設
- 排水機場等の整備、耐水化の取組
- 防災拠点等の整備

■ソフト施策

- 「まちづくり」や住まい方の誘導による水害 に強い地域づくりの検討
- 高床式住まいの推進
- マイ・タイムラインの普及
- 公共交通機関との洪水情報の共有
- 住民への情報伝達手段の強化

信濃川水系緊急治水対策プロジェクト（位置図）　（５／１７）

※「遊水地の位置、対策内容については、今後の調査・検討等を踏まえ、決定する」



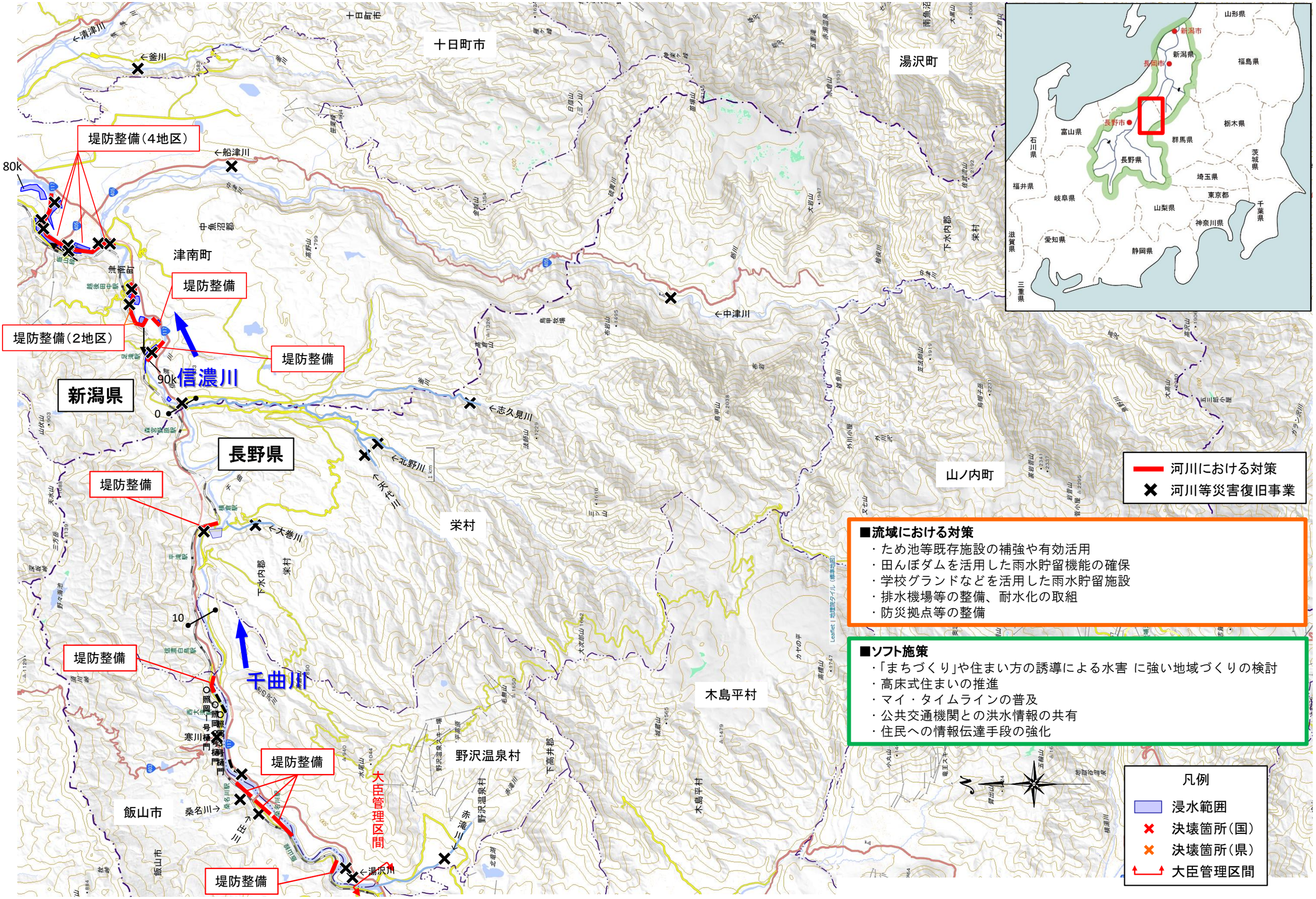
■流域における対策

- ため池等既存施設の補強や有効活用
- 田んぼダムを活用した雨水貯留機能の確保
- 学校グランドなどを活用した雨水貯留施設
- 排水機場等の整備、耐水化の取組
- 防災拠点等の整備

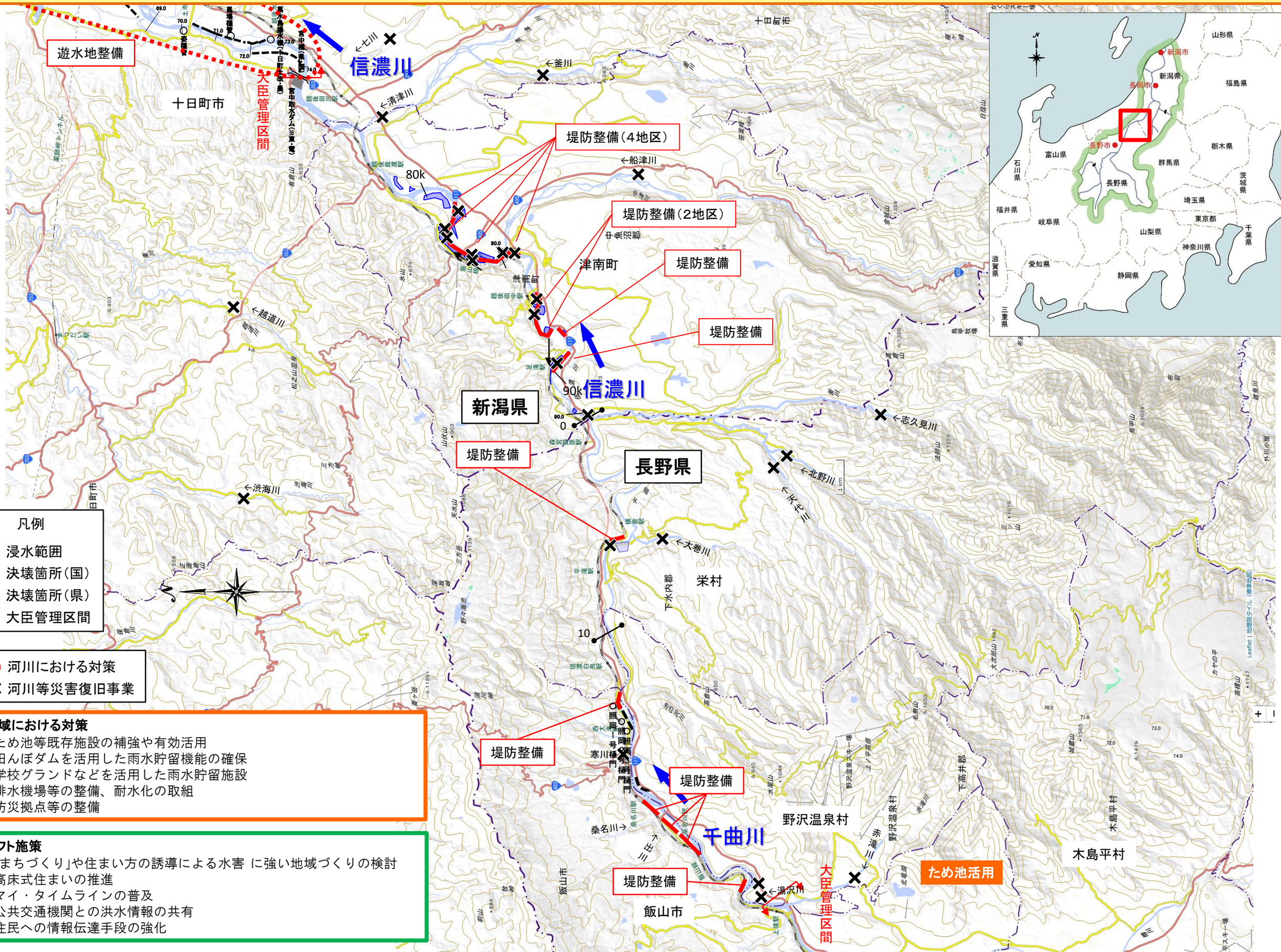
■ソフト施策

- 「まちづくり」や住まい方の誘導による水害 に強い地域づくりの検討
- 高床式住まいの推進
- マイ・タイムラインの普及
- 公共交通機関との洪水情報の共有
- 住民への情報伝達手段の強化

信濃川水系緊急治水対策プロジェクト（位置図）　（６／１７）



信濃川水系緊急治水対策プロジェクト（位置図）　（７／１７）



■流域における対策

- ため池等既存施設の補強や有効活用
- 田んぼダムを活用した雨水貯留機能の確保
- 学校グランドなどを活用した雨水貯留施設
- 排水機場等の整備、耐水化の取組
- 防災拠点等の整備

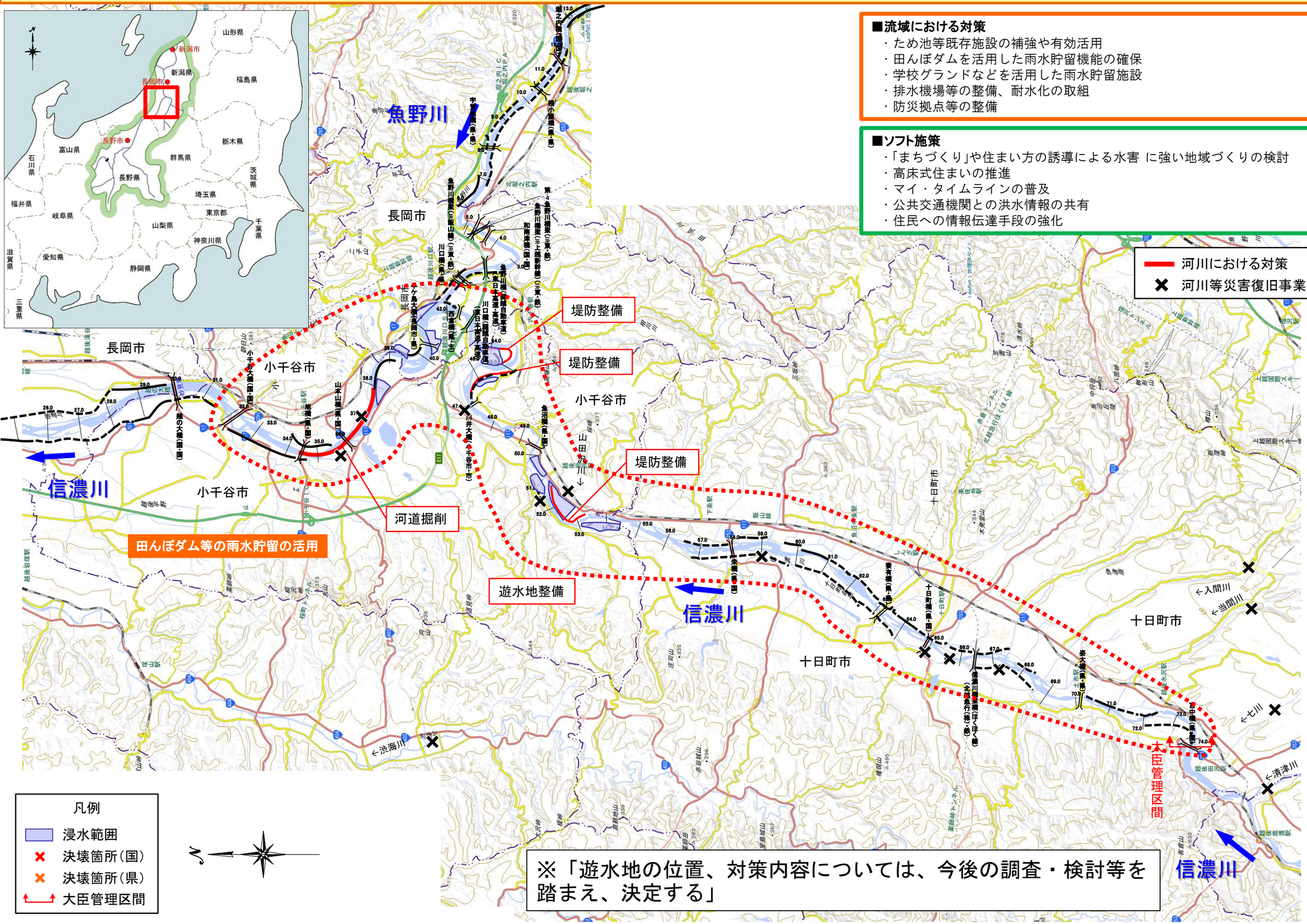
■ソフト施策

- 「まちづくり」や住まい方の誘導による水害 に強い地域づくりの検討
- 高床式住まいの推進
- マイ・タイムラインの普及
- 公共交通機関との洪水情報の共有
- 住民への情報伝達手段の強化

信濃川水系緊急治水対策プロジェクト（位置図）　（８／１７）

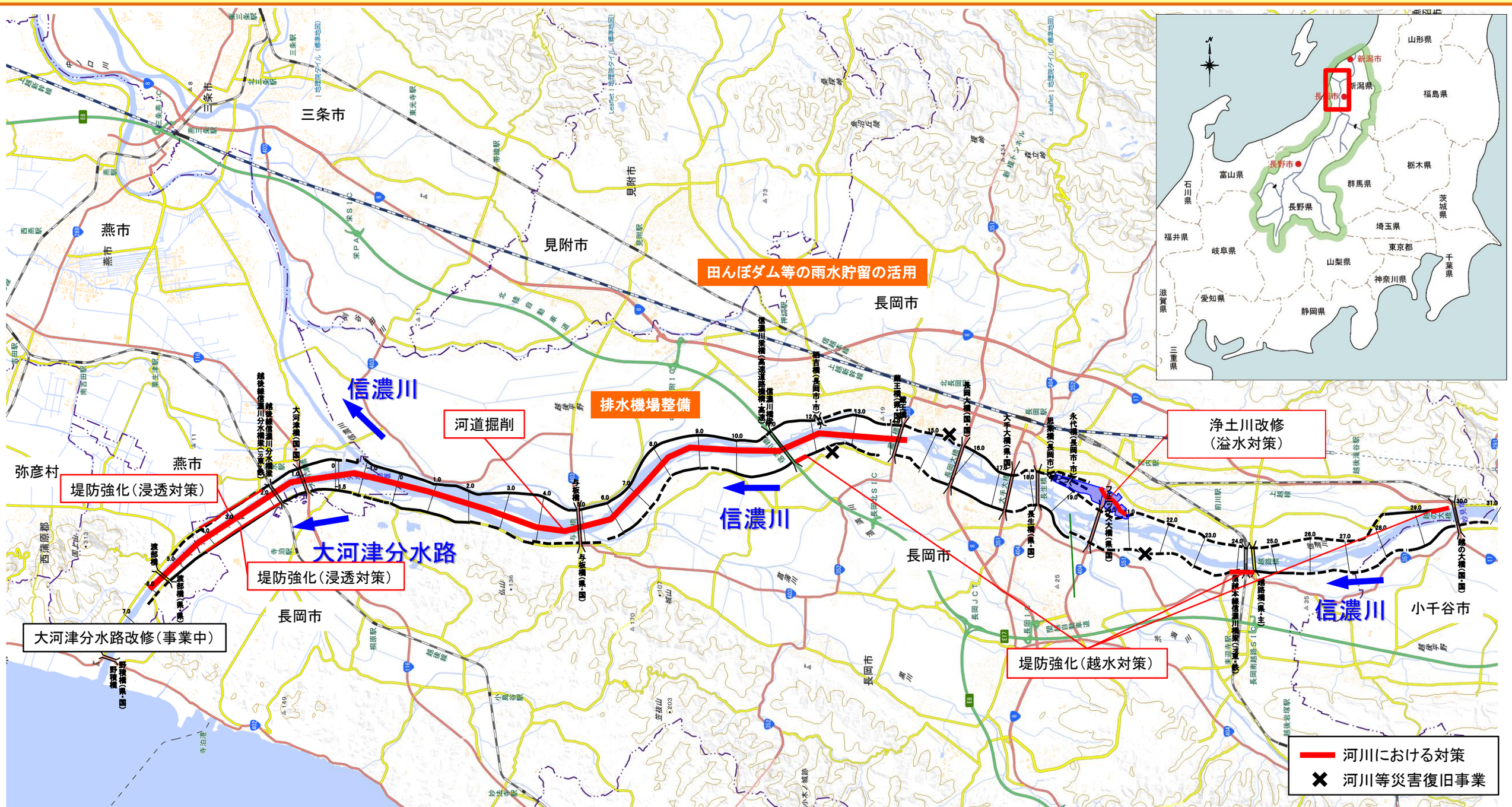
■流域における対策
- ため池等既存施設の補強や有効活用
- 田んぼダムを活用した雨水貯留機能の確保
- 学校グランドなどを活用した雨水貯留施設
- 排水機場等の整備、耐水化の取組
- 防災拠点等の整備

■ソフト施策
- 「まちづくり」や住まい方の誘導による水害 に強い地域づくりの検討
- 高床式住まいの推進
- マイ・タイムラインの普及
- 公共交通機関との洪水情報の共有
- 住民への情報伝達手段の強化



※「遊水地の位置、対策内容については、今後の調査・検討等を踏まえ、決定する」

信濃川水系緊急治水対策プロジェクト（位置図）　（９／１７）



■流域における対策

- ため池等既存施設の補強や有効活用
- 田んぼダムを活用した雨水貯留機能の確保
- 学校グランドなどを活用した雨水貯留施設
- 排水機場等の整備、耐水化の取組
- 防災拠点等の整備

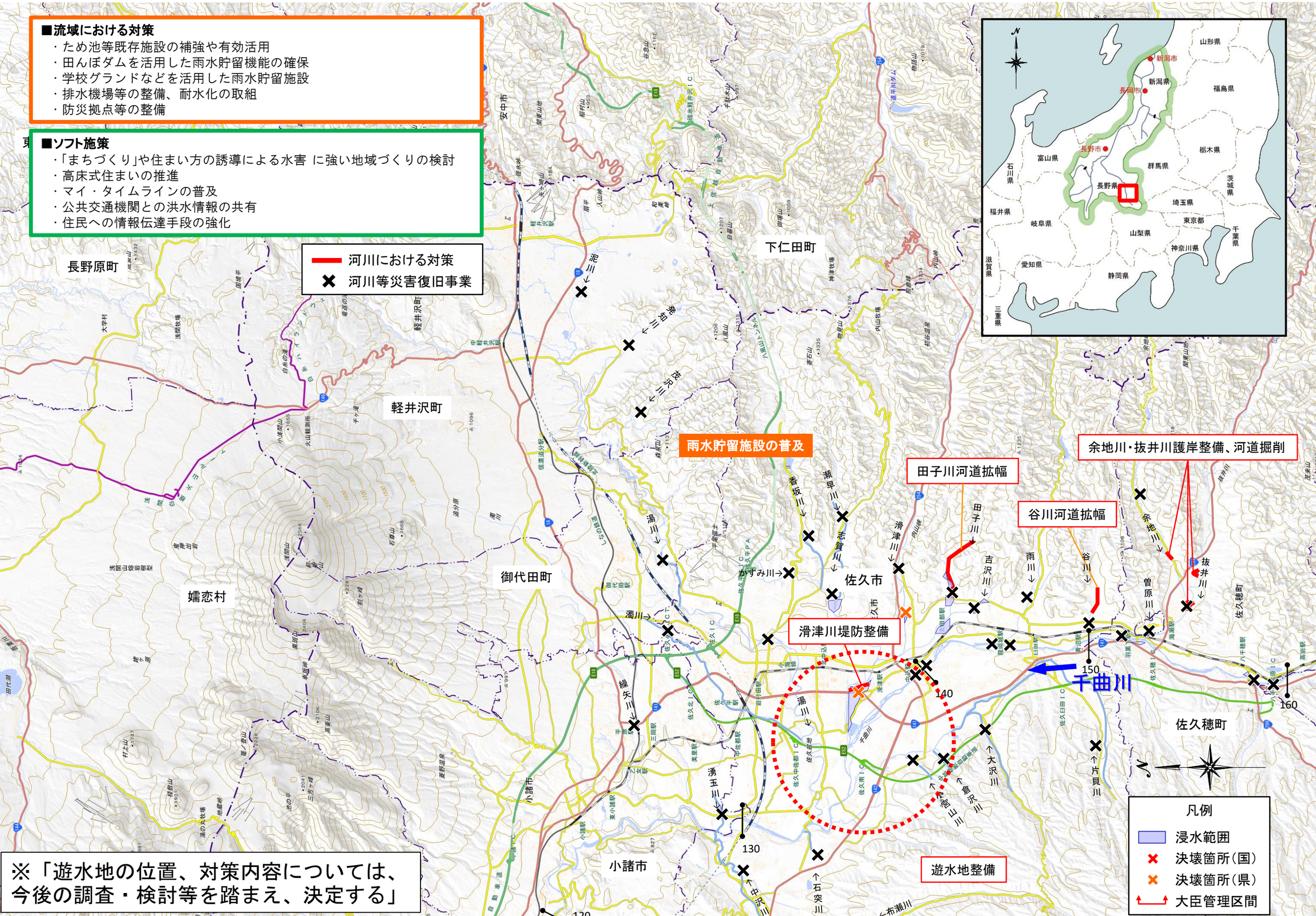
■ソフト施策

- 「まちづくり」や住まい方の誘導による水害 に強い地域づくりの検討
- 高床式住まいの推進
- マイ・タイムラインの普及
- 公共交通機関との洪水情報の共有
- 住民への情報伝達手段の強化

信濃川水系緊急治水対策プロジェクト（位置図）　（１０／１７）※千曲川支川　湯川等

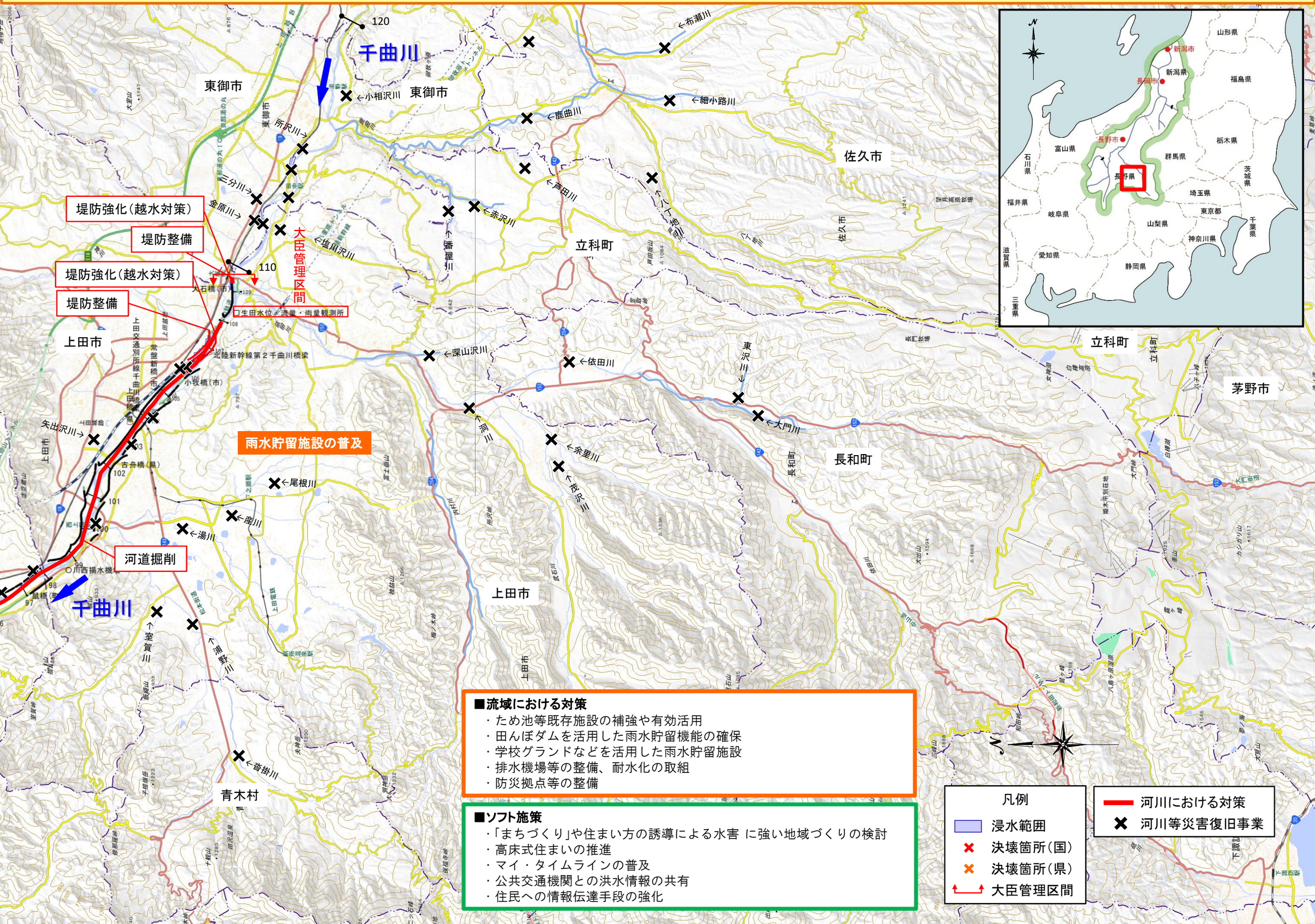
■流域における対策
- ため池等既存施設の補強や有効活用
- 田んぼダムを活用した雨水貯留機能の確保
- 学校グランドなどを活用した雨水貯留施設
- 排水機場等の整備、耐水化の取組
- 防災拠点等の整備

■ソフト施策
- 「まちづくり」や住まい方の誘導による水害 に強い地域づくりの検討
- 高床式住まいの推進
- マイ・タイムラインの普及
- 公共交通機関との洪水情報の共有
- 住民への情報伝達手段の強化

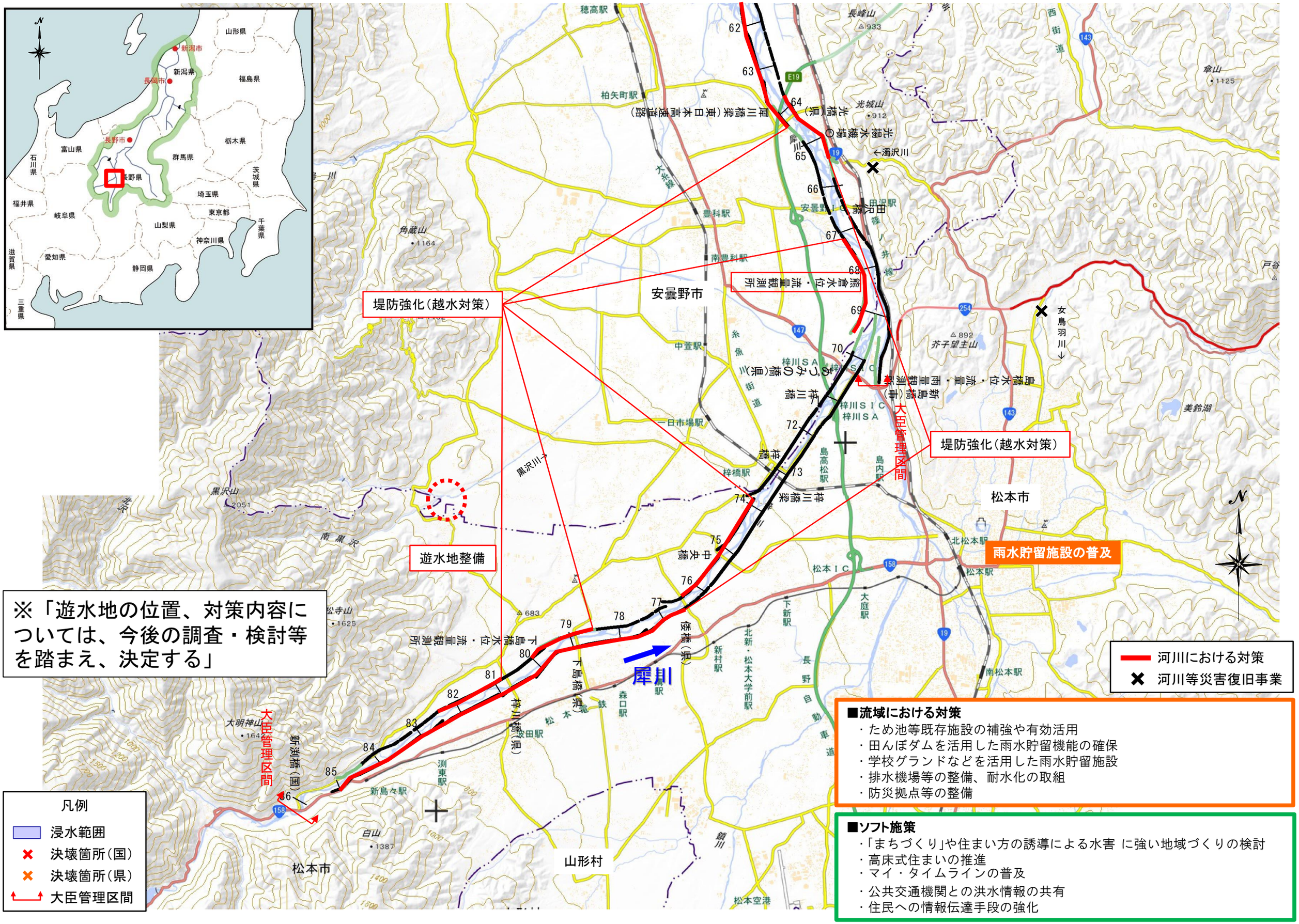


※「遊水地の位置、対策内容については、今後の調査・検討等を踏まえ、決定する」

信濃川水系緊急治水対策プロジェクト（位置図）　（１１／１７）※千曲川支川　依田川等



信濃川水系緊急治水対策プロジェクト（位置図）　（１２／１７）※千曲川支川　犀川



※「遊水地の位置、対策内容については、今後の調査・検討等を踏まえ、決定する」

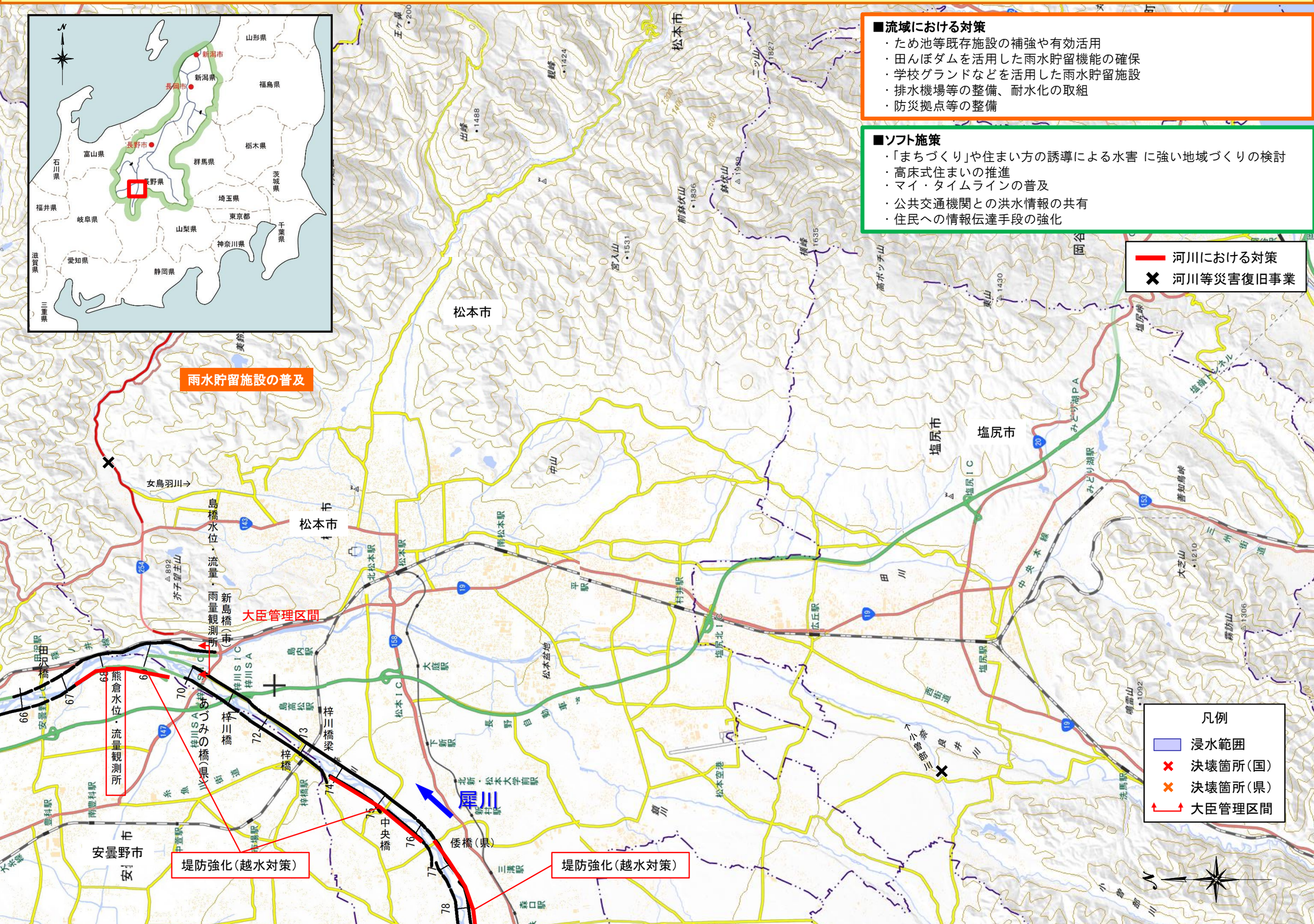
■流域における対策

- ため池等既存施設の補強や有効活用
- 田んぼダムを活用した雨水貯留機能の確保
- 学校グランドなどを活用した雨水貯留施設
- 排水機場等の整備、耐水化の取組
- 防災拠点等の整備

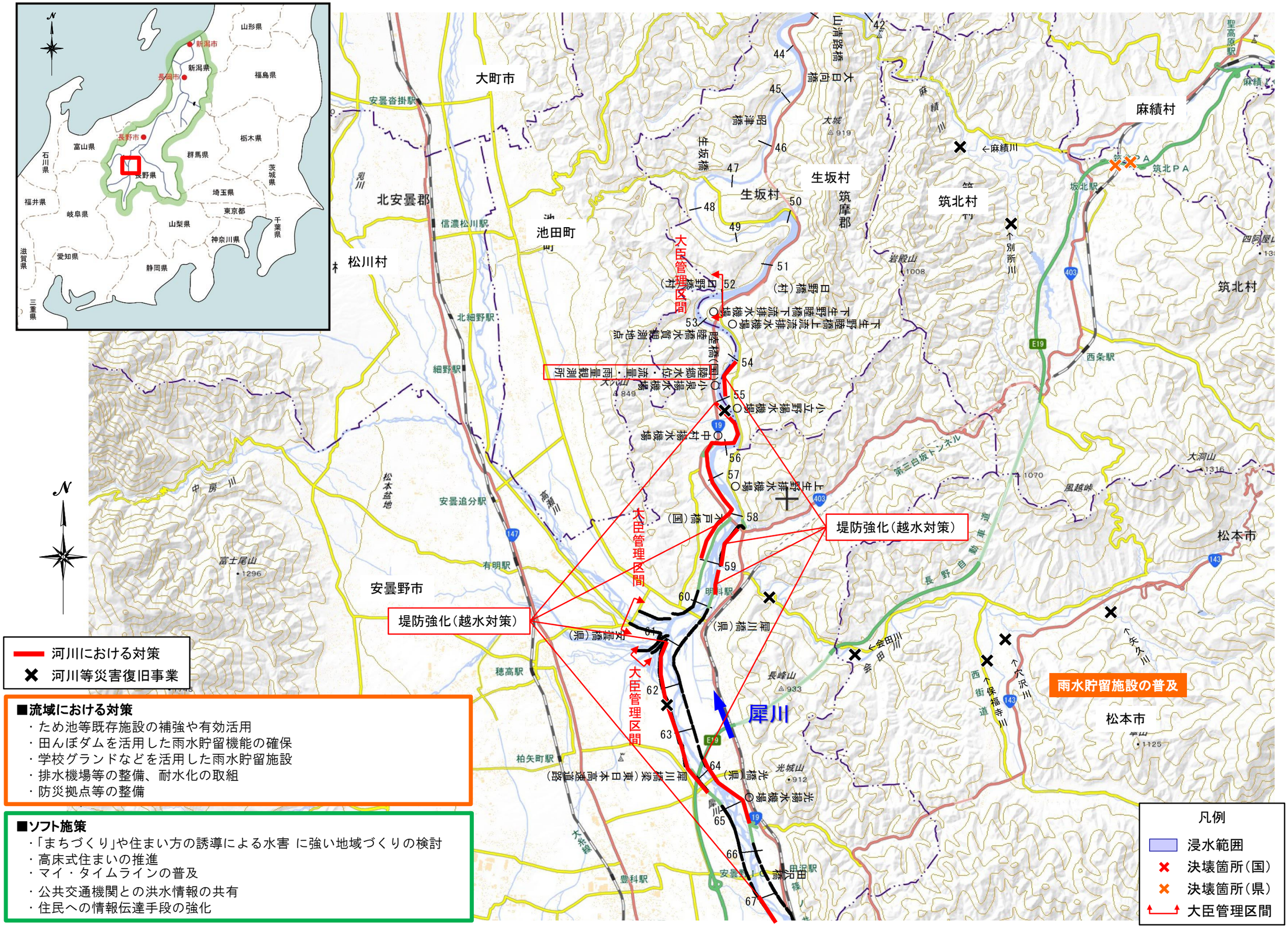
■ソフト施策

- 「まちづくり」や住まい方の誘導による水害 に強い地域づくりの検討
- 高床式住まいの推進
- マイ・タイムラインの普及
- 公共交通機関との洪水情報の共有
- 住民への情報伝達手段の強化

信濃川水系緊急治水対策プロジェクト（位置図）　（１３／１７）　※千曲川支川　犀川



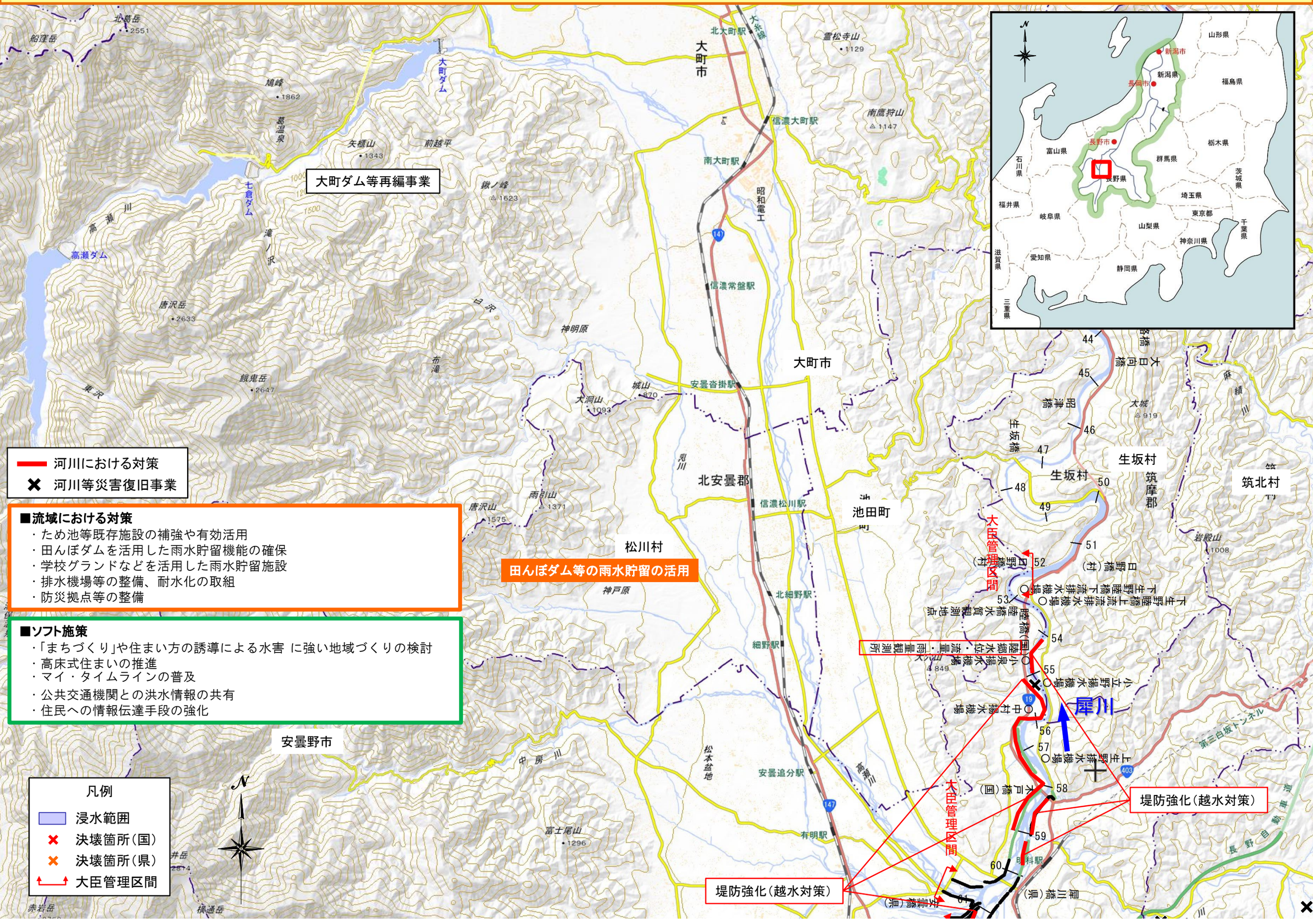
信濃川水系緊急治水対策プロジェクト（位置図）　（１４／１７）※千曲川支川　犀川



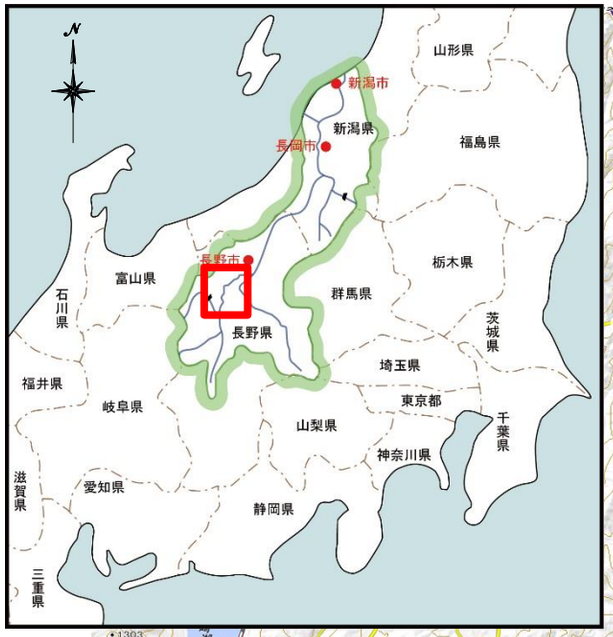
■流域における対策
- ため池等既存施設の補強や有効活用
- 田んぼダムを活用した雨水貯留機能の確保
- 学校グランドなどを活用した雨水貯留施設
- 排水機場等の整備、耐水化の取組
- 防災拠点等の整備

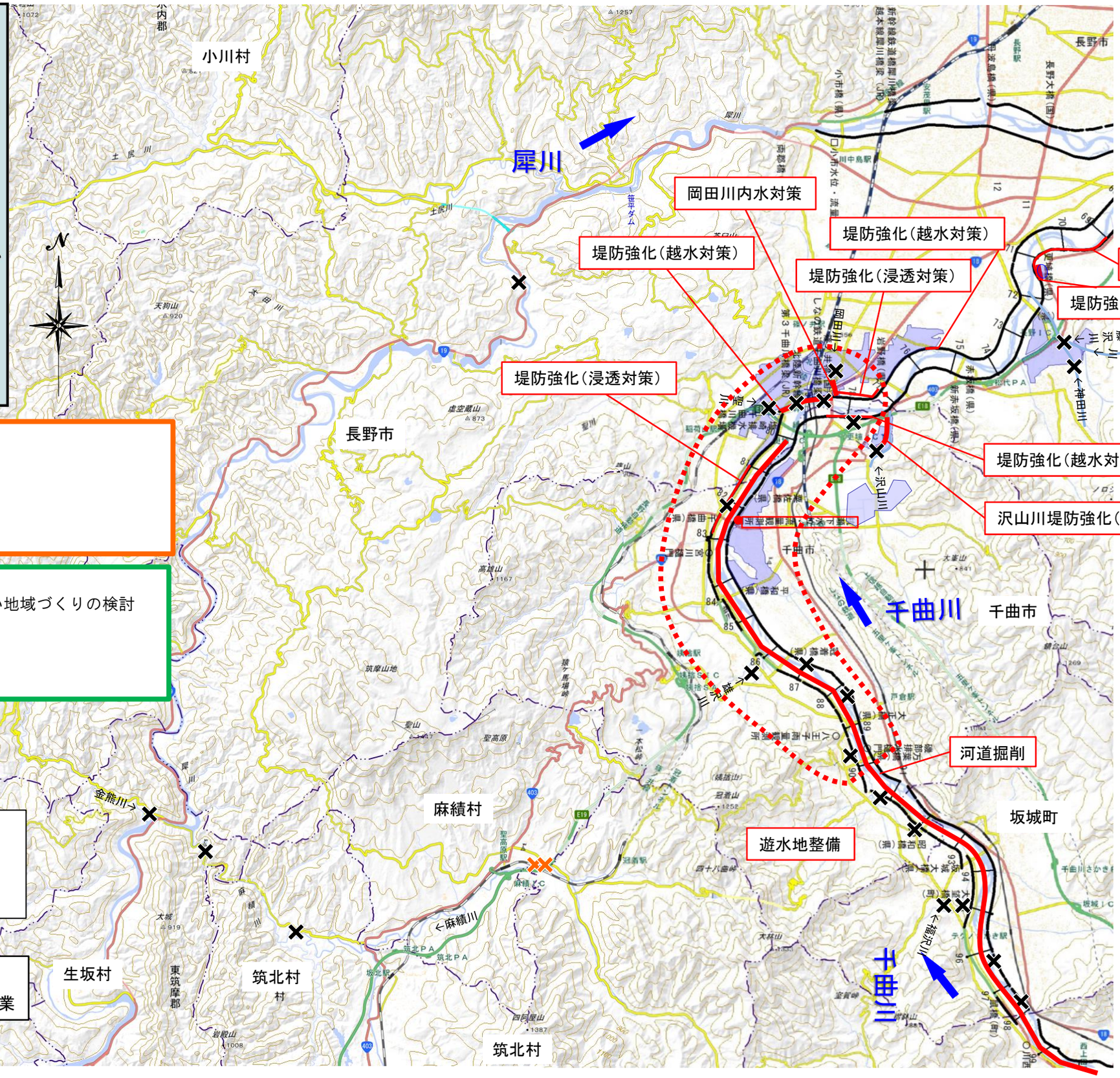
■ソフト施策
- 「まちづくり」や住まい方の誘導による水害 に強い地域づくりの検討
- 高床式住まいの推進
- マイ・タイムラインの普及
- 公共交通機関との洪水情報の共有
- 住民への情報伝達手段の強化

信濃川水系緊急治水対策プロジェクト（位置図）　（１５／１７）※千曲川支川　犀川



信濃川水系緊急治水対策プロジェクト（位置図）　（１６／１７）※犀川支川　麻績川等





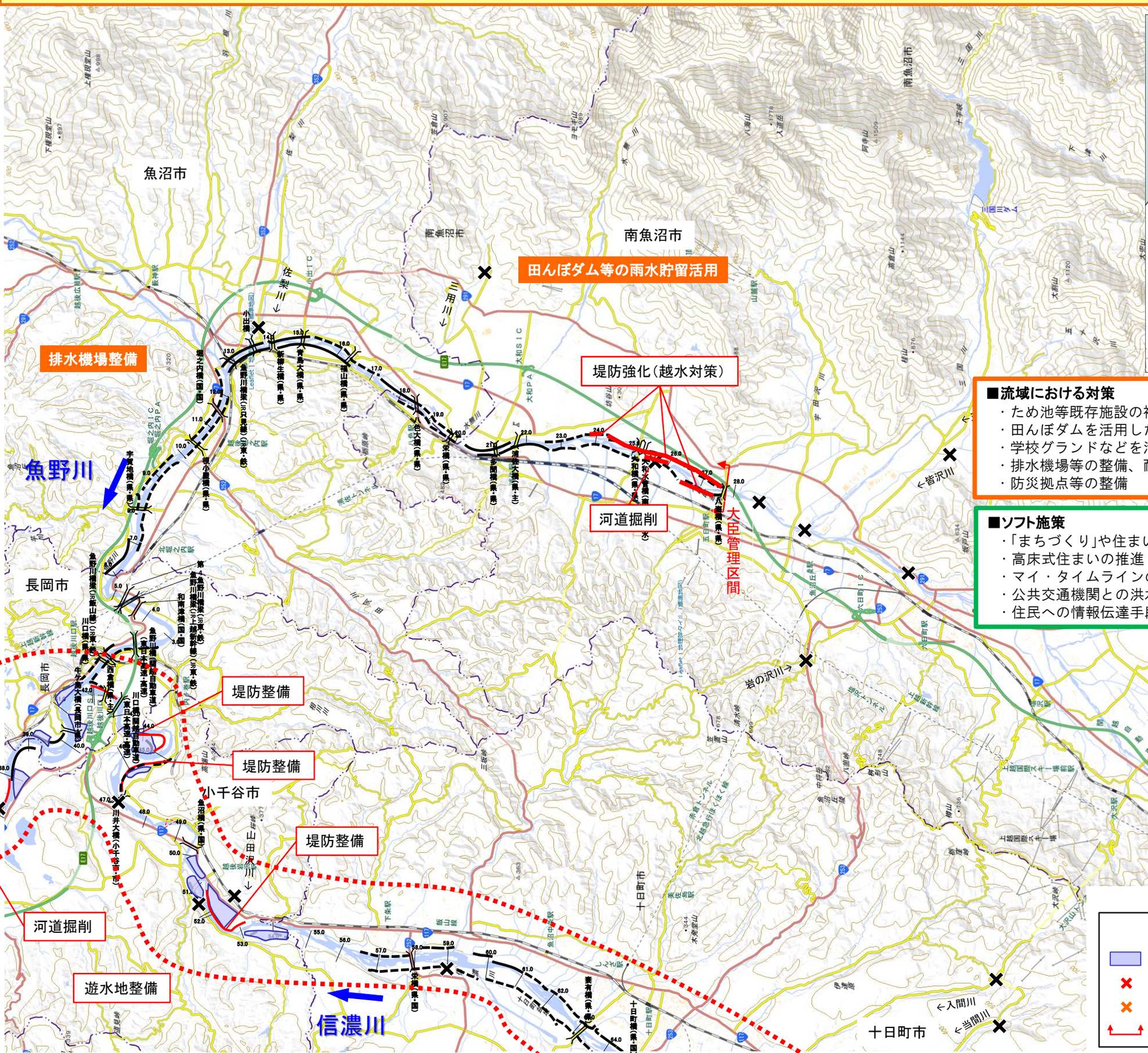
■流域における対策
- ため池等既存施設の補強や有効活用
- 田んぼダムを活用した雨水貯留機能の確保
- 学校グランドなどを活用した雨水貯留施設
- 排水機場等の整備、耐水化の取組
- 防災拠点等の整備

■ソフト施策
- 「まちづくり」や住まい方の誘導による水害 に強い地域づくりの検討
- 高床式住まいの推進
- マイ・タイムラインの普及
- 公共交通機関との洪水情報の共有
- 住民への情報伝達手段の強化

※「遊水地の位置、対策内容については、今後の調査・検討等を踏まえ、決定する」

凡例
- 浸水範囲
- 決壊箇所（国）
- 決壊箇所（県）
- 大臣管理区間
- 河川における対策
- 河川等災害復旧事業

信濃川水系緊急治水対策プロジェクト（位置図）　（１７／１７）※信濃川支川　魚野川



■流域における対策

- ため池等既存施設の補強や有効活用
- 田んぼダムを活用した雨水貯留機能の確保
- 学校グランドなどを活用した雨水貯留施設
- 排水機場等の整備、耐水化の取組
- 防災拠点等の整備

■ソフト施策

- 「まちづくり」や住まい方の誘導による水害 に強い地域づくりの検討
- 高床式住まいの推進
- マイ・タイムラインの普及
- 公共交通機関との洪水情報の共有
- 住民への情報伝達手段の強化

河川における対策

河川等災害復旧事業

凡例

浸水範囲

決壊箇所（国）

決壊箇所（県）

大臣管理区間